

日入学園の教育目標や生徒たちの学園での様子を発信する年3回発行の情報紙です。



学園通信日出

学園通信「日出」Vol.45 2025年1月31日発行
<http://www.hinode.ed.jp/>
 発行：学校法人日入学園
 〒272-0824 千葉県市川市菅野3-23-1
 TEL 047-323-3000
 FAX 047-324-0921



日入学園創立90周年特集 ひのでっ子たちのRoad to 創立90周年記念式典

日入学園 卒業生からのメッセージ

一生の友を得た日入学園



日入学園30期卒業生
 市川市長
田中 甲
 Kou Tanaka

師走の出来事、市川市の市長室に鍛山部屋の親方、元豊真将関が訪ねてきてくださったのです。親方の隣には笑顔を決やさない奥様が同席され、ひよんな話から市川にご縁があることを知ることとなりました。それがなんとお子様2人が日入学園小学校に通われているということで、話は一気に盛り上がり、私も日入学園小学校の思い出を感慨深く話し始めました。

そして何よりも日入学園で学ぶことの素晴らしさは、一生付き合いのできる友人関係が作り上げられることだと、自らを顧みず(詳しくはまた改めて)力説をしてしまっ

たのです。

政治家人生は40年になりますが、実は、私の最初の選挙は小学校5年生の児童会副長選挙でした。幸いにもその選挙はトップ当選でしたが、社会人になって被選挙権を得てからの挑戦は12回で7勝5敗と言う成績です。お相撲で言うならば、どうにか勝ち越しはしていますが、残りは白星を重ねていきたいと思っています。

いずれにしても市川で生まれ、市川で育ち、日入学園で学んだ私がその市川という場所で市長という立場をお預かりしていることは、政治家として大変に幸せなことだ

と思います。ですから決して笑われることのないよう、素晴らしい市川市を作るために、全力で努めていきたいと思うことは当然のことです。

日入学園も市川市も令和6年に90周年を迎えました。「なおく・あかるく・むつまじく」この思いを「こうと決めて！」田中 甲、頑張っ参ります。これからも30期卒業生をどうぞ宜しくお願い致します。

1957年市川市生まれ。日入学園・小学校、立教中学・高校・大学を卒業。民間企業を経て、1987年市川市議会議員初当選以降、千葉県議会議員(2期)、衆議院議員(3期)と地方政治から国政まで17年間務め、2022年4月22日市川市長に就任。

巻頭言

語りたいた夢があります

日入学園創立90周年
 記念事業を通じて



学校法人日入学園
 理事

日入学園創立90周年記念事業委員会
 委員長

篠原 正幸

まずは、創立90周年を迎えられたこと、誠に素晴らしく、お慶び申し上げます。ここまでの道のりは、険しく厳しい時もあったと推察しますが、「なおく あかるく むつまじく」の校訓のもと、時代の変化にこたえつつ、何より「子どもたちのために何が出来るのか」を常に考え進められた教育方針に敬意を表します。

委員会では、先人のご功績を想いつつ、さらに未来に繋げることを創立90周年の意味としました。そして、「あと10年で100周年」との観点から「未来へのアプローチ」とした周年記念事業を進めていくことが大事ではないかと考えたのです。

「誰にとっての未来か」、それは「園児、児童、生徒たちの未来」と位置づけ、テーマを「語りたいた夢があります」としました。そこで、子どもたちに「将来どんな大人に

なりたいか。そのために学園に必要なものは何か」というアプローチでアンケートや聞き取りを実施し、整理分析したところ、子どもたちが求めたのは「つながり」「協調」でした。

このことから、記念事業として「メディアルーム」を改築し、相互理解や切磋琢磨が促進できる環境としました。また、スポーツでのチームワークや一体感などを培うためアリーナの空調設備を増設し、さらなる文武両道に寄与いたします。幼稚園については、「遊びを通じての成長」のための遊具の新設を計画しました。

11月2日に開催された90周年記念式典は、幼稚園、小学校、中学校・高等学校の皆さんにも大いに参加してもらおう式典としました。幼稚園児の合奏・合唱は日頃の成果を思い切り発揮され、保護者の皆

様も大満足であったと思います。小学校は、ダンスクラブの皆さんが元気いっばいのパフォーマンスを披露してくれました。中学校・高等学校のバトントワーリング部の圧巻の演技は、目を見張るものがありました。そして、吹奏楽部の学園歌も含めた演奏は、心を打たれるものでした。あらためて日入学園の底力を拝見し、頼もしささえ感じました。

来たる100周年の時に、彼ら彼女たちは、どんな生徒、大人になっているのでしょうか。不確実で混とんとした世界情勢、環境破壊など、問題が山積している社会だからこそ、「真心があり、前向きで、愛情あふれる人材」が必要とされると考えます。そんな若人に成長されることを、90周年記念事業を通じ、あらためて切に願うばかりです。

ひのでっ子たちのRoad to 創立90周年 記念式典

1934年4月、日出国園幼稚園、小学校が開校し、2024年、日出国園は創立90周年を迎えました。その創立90周年の記念式典が11月2日に開催されました。式典では、幼稚園児による合唱・合奏、小学校ダンスクラブ、中学校・高等学校バトントワーリング部のパ



フォーマンス、小学校と中学校・高等学校合同の吹奏楽演奏が披露されました。今回の特集は、創立90周年記念の晴れの舞台での発表に向け、90年目のひのでっ子たちが熱心に練習に励んできた、「Road to 創立90周年記念式典」の活動をレポートします。

幼稚園 合唱・合奏

日出国園創立の原点、幼稚園児が『歓びの歌』『誕生日のうた』を披露

式典に向けての練習、式典の様子はQRコードからご覧ください▶



幼稚園児が創立90周年記念式典で披露したのは、年長組によるメロディオンの演奏、年中組の合唱で、曲目はベートーヴェン作曲の『歓びの歌』と、毎月幼稚園で行われるお誕生会で歌われる『誕生日のうた』でした。メロディオンの演奏は、年長クラスで就学準備の一環として取り組んでいますが、『歓びの歌』の練習は、2学期の9月より始め、10月の日出祭の展示物製作、11月2日の記念式典後に行われた親子プレイデーの練習と、大きな行事が相次ぐ中、忙しい合間をぬって進められてきました。

指揮は年長ばら組の澤居未来先生、ピアノ伴奏はふじ組の中川多恵先生が担当しました。式典の合唱・合奏に向けて、より完成度を高めるために、リトミックの千勝美穂先生、加藤瑞絵先生のご指導を仰ぎながら、練習を重ねてきました。式典1週間前には、年少のさくら組、きく組園児の前で、これまでの練習の成果を披露しました。そして式典当日、幼稚園ホールに保護者が詰めかける中、90年前と変わらないであろう、園児たちの元気な歌声と合奏が響き渡りました。



小学校/中・高 合同吹奏楽

小学校、中学校・高等学校の吹奏楽部による合同演奏が実現

合同練習の様子や式典での演奏はQRコードからご覧ください▶



ありそうでなかった、小学校吹奏楽クラブと、中学校・高等学校吹奏楽部の合同演奏が、創立90周年記念式典で実現しました。吹奏楽クラブ・部の活動はともに伝統があり、プロの演奏家も輩出しています。今回は小学校4年生から高校2年生まで、歳の差がある児童・生徒が一同に会し、式典での国歌歌唱・学園歌唱の伴奏を務め、記念アトラクションでは『folklore』『栄光の架橋』の2曲を披露しました。

式典に向けての練習は、日出祭後より各校で取り組み、初顔合わせは10月9日。その後、中高は中間テスト期間となり、小学生と中高生の合同練習がスタートしたのは、式典1週間前でした。放課後に行った合奏は小学生の下校時刻が早いため、30分程度という限られた時間での練習となりました。今回、指揮を務めたのは、日出国園卒業生で小学校教諭の澤瀬正幸先生。パート練習



では中高生が小学生を指導する場面もありましたが、「小学生とは思えないほど、しっかりと音を出していて、びっくりしました!と、先輩たちは小学生たちの演奏をリスペクト。そして式典当日、アリーナ1での小学生と中高生の息のあった音色に、万雷の拍手が送られていました。

小学校 ダンスクラブ

児童自ら選曲し、振り付けを考えた元気溢れる27名のダンスLIVE

式典に向けての練習、式典の様子はQRコードからご覧ください▶



小学校を代表して、式典で元気なパフォーマンスを披露したのは、4年生から6年生まで、女子児童総勢27名のダンスクラブのメンバーです。ダンスクラブの活動は、毎週金曜日の週1回。10月に開催される日出祭学芸会での発表に向けて練習が積み重ねられますが、その成果を見てもらえるのは4年生以上の児童とその保護者に限られます。式典でのパフォーマンスは、会場の来場者だけでなく、ライブ配信を通じて全在園生に見てもらえる絶好の機会でもありました。ダンスクラブのメンバーは自分たちで曲

と振り付けを選び、日出祭で発表したダンスパフォーマンスにさらに磨きをかけるべく、お休みのわずかな時間でも多目的ホールに集まって練習し、本番に臨みました。「ダンス、大好き!!」。メンバーのその溢れる思いは、観る人にしっかりと届いたようです。



中学校・高等学校 バトントワーリング部

全国大会前に圧巻の演技を披露 “文舞両道”バトン部パフォーマンス

式典前日の練習、式典での演技はQRコードからご覧ください▶



今年度、日出国園中学校・高等学校バトントワーリング部は、中学校、高等学校とも、県大会、関東大会を勝ち抜き、第52回『バトントワーリング全国大会』に出場。12月7日、幕張メッセで行われた全国大会ではそれぞれ銀賞を受賞しました。創立記念式典で披露された、中学校バトン部『海に見える街』、高等学校バトン部『Red moon』の演目は、12月の全国大会に先立って演じられたもので、式典でのパフォーマンスは、全国大会に向けてのお披露目の舞台ともなりました。

近年、日出国園中学校・高等学校バトントワーリング部の活躍は目覚ましく、団体・個人ともに全国大会への出場だけでなく、2023年IBTF世界バトントワーリング選手権大会に、バトン部OGの神樂

梨緒さん、桑野花音さんが日本代表に選出される(学園通信「日出」VOL.43既報)など、日出国園バトン部の道は世界へと通じるまでになりました。これもバトン部顧問の佐々木奈菜先生、楠橋秀明先生、小松稚菜先生、指導者の坂本ゆうきコーチの、熱心な指導の賜物と言えるでしょう。

創立記念式典当日、バトン部の圧巻の演技に、来場者、在園生からの大きな歓声と拍手が沸き起こっていました。



2024年度 学校評価アンケート結果報告/Topics

2024年度 学校評価アンケート 結果報告

この度は学校評価アンケート回答へのご協力ありがとうございました。各校別の2024年度アンケート結果について報告いたします。

■幼稚園

教員や園児同士の触れ合いの中で、生活面での自立や好奇心の追求が身に着いたという実感の高さが傾向として見られた。

幼稚園に期待するものとしては昨年同様、「読み書きや算数などを学ぶ時間」の割合が高いことに加え、今年度は「自然と触れ合う時間」の割合が高くなった。小学校入学前準備と五感を使った体験の機会の両立を図ることが今後の課題である。

■小学校

小学校に期待するものとして「心の教育の充実」が依然として高い傾向にあり、児童同士、教員との関係性の良さが、学校生活の満足度の高さに起因していると分析する。また、中学校・高等学校と同様「実践英語力」や「自主性を育む教育内容」に期待する傾向が高まっている。特に「自主性」は昨年同様、重要だが実現できていない項目にあがっているため、授業内容や教育方針が課題である。

■中学校・高等学校

AIの発達や国際化が進む社会情勢から「実践英語力」や「自主性を育む教育内容」への関心の高さが見られた。一方で「自主的に学ぶ姿勢」については昨年同様、実現度を下回った。また、宿題量等の授業以外での学習時間に関する満足度が低い傾向にある。

学習意欲を育む授業内容や、授業以外の学習時間の確保とその使い方についての提案等、施策が必要である。

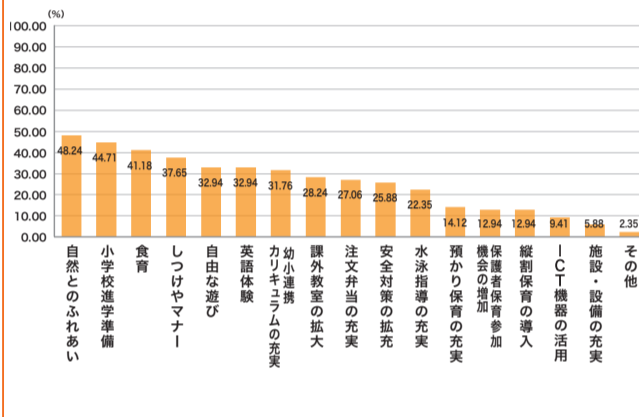
向上している項目についてはこれまで以上に強化していくとともに、重要項目であるにもかかわらず、過年度よりも低下した項目については、各校・園ともに、改善策を検討・実施してまいります。詳しくは各校・園からの別途報告書でご確認ください。

学校評価アンケート実施状況 (2022年度～2024年度)

| 学年 | 属性 | 年度 | 実施状況 | | 実施率 |
|----------|--------------|------|------|-------|--------|
| | | | 実施人数 | 対象者人数 | |
| 幼稚園 | 保護者 | 2024 | 85 | 92 | 92.4% |
| | | 2023 | 75 | 85 | 88.2% |
| | | 2022 | 73 | 86 | 84.9% |
| | 教員 | 2024 | 13 | 13 | 100.0% |
| | | 2023 | 9 | 13 | 69.2% |
| | | 2022 | 8 | 12 | 66.7% |
| 小学校 | 保護者 | 2024 | 495 | 621 | 79.7% |
| | | 2023 | 447 | 610 | 73.3% |
| | | 2022 | 457 | 598 | 76.4% |
| | 児童 4・5・6年 | 2024 | 283 | 308 | 91.9% |
| | | 2023 | 286 | 311 | 92.0% |
| | | 2022 | 286 | 297 | 96.3% |
| | 教員 | 2024 | 37 | 43 | 86.0% |
| | | 2023 | 39 | 43 | 90.7% |
| | | 2022 | 33 | 45 | 73.3% |
| 中学校・高等学校 | 保護者 | 2024 | 571 | 831 | 68.7% |
| | | 2023 | 616 | 879 | 70.1% |
| | | 2022 | 660 | 891 | 74.1% |
| | 生徒 | 2024 | 716 | 831 | 86.2% |
| | | 2023 | 730 | 879 | 83.0% |
| | | 2022 | 699 | 891 | 78.5% |
| | 教員 | 2024 | 65 | 79 | 82.3% |
| | | 2023 | 38 | 79 | 48.1% |
| | | 2022 | 33 | 79 | 41.8% |

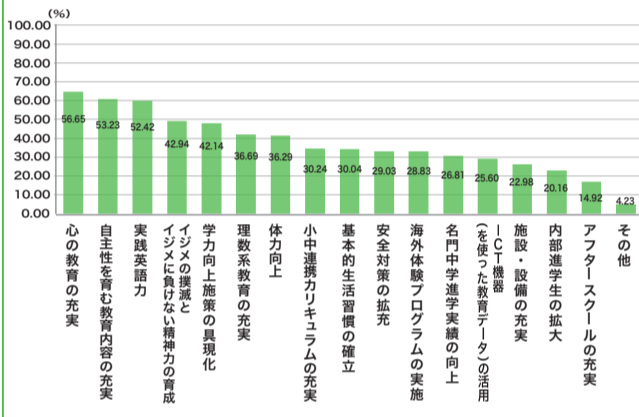
幼稚園 保護者 今後の本園の保育に期待する事項

保護者は「自然とのふれあい」「小学校進学準備」「食育」は保護者の期待が高い結果となった。「小学校進学準備」に関して、保護者の期待が高い。



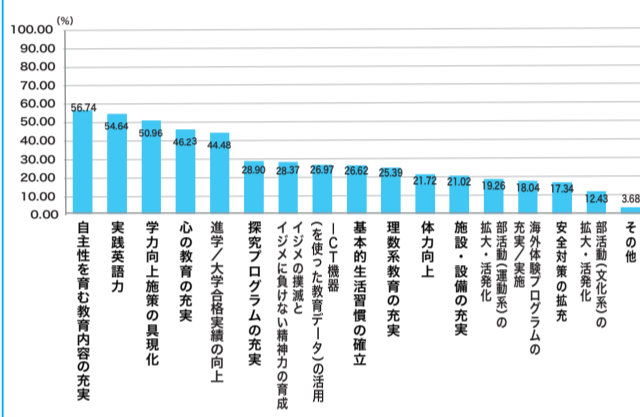
小学校 保護者 今後の本校の教育に期待する事項

「心の教育の充実」「実践英語力」はこれまでも期待が高く、上位項目の中で「自主性を育む教育の充実」「施設設備の充実」は、昨年度よりも回答割合が高くなる結果となった。



中学校・高等学校 保護者 今後の本校の教育に期待する事項

今年度追加した「自主性を育む教育内容の充実」「英語実践力」が、これまで上位に来ていた「学力向上施策の具現化」を上回る結果となった。



小学校 5年生と6年生のクラス連合で、「水泳大会」を開催。応援合戦も大盛況 2024年9月4日

2学期開始早々に行われる恒例の水泳大会は、これまで5年生と6年生の6クラス対抗戦でしたが、今年は5年生と6年生の縦割りで、それぞれ1組、2組、3組がチームを作り、クラス対抗での水泳大会を実施しました。



決起会にはチアリーダー?が登場。児童たちも一気にヒートアップ!

当日、水泳大会直前のお昼休み、6年生の各クラスでは、応援練習などの決起会が行われ、先生たちによるサプライズの応援練習には、児童たちも大喜び。一気にクラスの士気や団結力が高まりました。

最終種目の100mリレーは男女混合で順位を競い合い、プールサイドからの熱い声援を受けて、選抜選手たちは懸命な泳ぎを見せていました。

水泳大会では、泳ぎが得意な児童はクロールや平泳ぎのタイムレースで競い合い、泳ぎが苦手な児童はプールを浅くして、宝取りレース、ワニ歩きリレー、バトンリレーで参加するなど、5年生・6年生全員が水泳大会を楽しみました。(※タイムレースでは、歴代ランキングというものがあり、過去の好記録をTOP5のランキングで残しています。タイムを更新するとランキングに加えられます)

全種目終了後、歴代ランキングの発表が行われ、更新した児童が発表されると、皆が拍手で好タイムを出した選手を讃えます。男子クロールでは5年生の萩原緋琉さんが、これまでなかなか破られなかった校内歴代記録、25mの18.0秒(2017年)と、50mの35.6秒(2015年)を3秒近く縮めました。最終学年となる来年は、更なる記録更新が期待されます。



泳ぎだけではなく、水の中を走るリレーに応援にも熱が入ります。萩原さん(円写真)の25m自己ベストは13秒4。来年の記録更新に期待です。

中学校・高等学校 日出学園高等学校が文部科学省のDXハイスchool採択校に。情報IIで特別授業開催 2024年9月19日～10月28日 計6回開催

今年度より始まった、文部科学省が主導する高等学校DX加速化推進事業(DXハイスchool)。日出学園もこのDXハイスchool事業に応募し、採択校に選ばれました。

| 開催日 | DXハイスchool 特別授業内容 |
|-------------|---|
| ① 9月19日(木) | AIの仕組みを明らかにする |
| ② 9月30日(月) | |
| ③ 10月10日(木) | テンセグリティ構造模型の作成と分析 |
| ④ 10月17日(木) | |
| ⑤ 10月21日(月) | アプリのUI(ユーザーインターフェイス)/UX(ユーザーエクスペリエンス)改善 |
| ⑥ 10月28日(月) | |

DXハイスchool事業は、「ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化する学校などに対して、そのために必要な環境整備の経費を支援する」(文部科学省:高等学校DX加速化推進事業概要より一部抜粋)もので、これまで大学レベルでしか行われてこなかったデジタル人材育成の取り組みを、高校レベルから実施することを目指しています。

機械学習の基礎やデータ分析などを学びました。尾崎さんにはそれらを踏まえた内容で講師を依頼しました。

日出学園では、このDXハイスchool事業を、高校3年の情報IIのカリキュラムで、「卒業記念特別授業」として、卒業生で現役慶應義塾大学院政策・メディア研究科の尾崎正和さんを講師に迎え、計6回の特別授業(右上表組)を行いました。

「武善先生からのお話を受けて、AIを使う側ではなく、開発者側の視点に立った体験学習や、建築物の安定した構造理論であるテンセグリティ構造をまず自分の手でその構造に触れてみる実習、スマホのアプリを題材に、利用者視点から使い勝手の良さや改善点を探し出す授業を行いました」(尾崎さん)

特別授業の指導教諭、情報科の武善紀之先生は「日出学園の情報科は総合的に多くの実習を行う教科です。1学期は人工知能(AI)や

今回の授業は「ほぼ大学の講義と同レベル」(尾崎さん)とのことで、生徒たちはこの特別授業を通じ、卒業後、新たな環境で学ぶ自分の姿を見たかもしれません。

「DXハイスchool特別授業」の動画はQRコードをスマホで読み取ってご覧いただけます。▶



DXハイスchoolの特別授業の講師は、卒業生の尾崎さん(立姿)



テンセグリティ構造を理解するために、同じ構造のテントを組み立て

幼稚園

幼稚園児のための金融教育
「お金を貯めて、親子でお買い物」公開保育
2024年11月27日

10月より幼稚園では、年長園児が家でお手伝い等をし、その対価としてお小遣いをもたらす「金融教育」に取り組んできました。

この金融教育はJ-FLEC 金融経済教育推進機構千葉県金融広報委員会と日出国園幼稚園の共催によるもので、一連の金融教育の締めくくりとして、11月27日に行われた『お買い物ごっこ』には保護者も参加し、後半はファイナンシャルプランナー・加藤木圭子先生(右丸写真)による「保護者のための～家庭でまなぶお金の話」と題する講演が行われました。

幼稚園ホールで行われた『お買い物ごっこ』

では、「といざらす ひので」(おもちゃ屋)、「だいやまーけっと」(洋品店)、「みんなのだがしや」(駄菓子屋)、「べつとしょぶ」の4つのお店が設けられ、そこに園児たちが紙やビニールで作った看板やPOP、商品が展示され、売り手と買い手が交代しながら、商品の販売や買い物を楽しみました。

この日は保護者も販売や買い物に付き添い、園児たちが家のお手伝いで貯めたお金をどう使うのかを見守っていました。また、今回は公開保育とし、近隣保育園や幼稚園からも関係者が見学に訪れていました。



加藤木先生

加藤木先生の講演では、「お金の話をタブーにしない」「お金に色をつけない」など、子どもたちのお金との向き合い方についての内容に、保護者の方々は熱心に耳を傾けていました。

「金融教育」公開保育の動画はQRコードをスマホで読み取ってご覧ください。▶



園児たちは自分が作った商品を売ることで、自分が働いて得たお金で買うことを体験しました。

幼稚園 / 小学校 / 中学校・高等学校 交流授業 Report

中学3年生が家庭科授業で幼稚園児との保育体験

中学3年生が11月21日、22日に、手作りのおもちゃを持参し、幼稚園を訪問。園児たちとの保育実習授業が行われました。中学校の学習指導要領「技術・家庭(家庭分野)」に記載されている「幼児と触れ合うなどの活動」として、日出国園中学校では、2022年度より、日出国園幼稚園で保育実習授業を行っています。

実習授業当日、最初こそお互いどう接していいか戸惑っていた様子の中学生や園児たちでしたが、すぐに距離を縮め、中学生の手作りのおもちゃで遊び始めると、幼稚園ホール中が賑やかに。中学生も

童心に戻って園児たちと楽しい時間を過ごしていました。

最後、園児たちが普段幼稚園で行っている遊びや、歌っている歌と一緒に楽しみました。



中学生の保育実習授業の様子は、QRコードをスマホで読み取ってご覧ください。▶



小学1年生が幼稚園年中園児と「あきまつり」

今年度入学した小学1年生が、2歳違いの幼稚園年中組の園児を小学校に招いて、「あきまつり」を開きました。このイベントは1年生が生活科の授業で、どんぐりや落ち葉、松ぼっくりなど、秋の素材でおもちゃを作り、幼稚園児に遊んでもらうというもので、今年初めて実現したものです。

1年生たちは、菅野駅近くの平田緑地で、

どんぐりなど秋の素材を拾い集め、生活科の教科書を参考におもちゃを作成。そのおもちゃで園児が遊べるように説明する練習をし、リハーサルを重ねて当日を迎えました。

年中園児にとっては初めての小学校訪問で、大勢の1年生に囲まれて少々緊張気味。小学校で一番年下の1年生は、この日はお兄さん、お姉さんになって園児一人ひとりに懸命に遊び方を説明し、お世話をしていました。指導にあたった後藤紗智子先生は、「この体験を通じて、来年、新1年生を迎える心の準備ができればと思います」と語っていました。

小学1年生と幼稚園児の「あきまつり」の様子は、QRコードをスマホで読み取ってご覧ください。▶



小学校

読売新聞社主催『全国小・中学校作文コンクール』で
平野小絵佳さん(4年)が千葉県審査で最優秀賞に。
小学生入賞14作品中、日出国園小学校は5作品受賞

第74回『全国小・中学校作文コンクール』の千葉県審査で、小学校4年2組の平野小絵佳さんの作文が、高学年の部で最優秀賞を受賞。中央審査へと進みました。

平野さんの作品タイトルは『やさしさのボタン』。6月1日に行われた運動会で、初めてリレーの代表選手に選ばれた時の驚きに始まり、その後、本番に向けての練習でお母さんや担任の小山幸洋先生からの励ましに助けられながら、運動会に臨んだ心の変化が原稿用紙16枚に丹念に綴られています。

作文は得意かという問いに、平野さんは謙遜していましたが、小山先生曰く「日記などでも面



白の文章を書き、とても上手だと思います」とのこと。

今回、千葉県審査で選ばれた小学生の14の入賞作品中、日出国園小学校児童の作品が5作品選ばれました。小学校では国語以外に、独自の『言語表現』の科目(担当:坪田由希子先生)を設け、言葉で表現する技術の強化に取り組んでいます。平野さんはじめ、多くの児童の作文コンクールでの高い評価は、学校全体で言葉や文章による表現力を養ってきた成果の表れと言えるでしょう。

平野さんの受賞作文は、日出国園ホームページ「学園通信」のページからご覧ください。▶



中学校
高等学校

小林伶さん(高等学校1年)が
人気テレビ番組『日曜日の初耳学』に出演
「勉強の前にSNSをみてしまう」悩みを相談

MBS/TBS系列で毎週日曜放送の教養バラエティ番組『日曜日の初耳学』に、高等学校1年生の小林伶さん(右丸写真)が出演しました。

今回の番組出演はFLYERS顧問の石川先生から、「番組オーディションに応募してみない？」



小林さん(下段左2人目)と番組共演者。同番組の未公開内容は、YouTubeで限定公開しています。QRコードをスマホで読み取ってご覧ください。▶

と誘われて応募し、事前アンケートの悩みが採用され、出演することになりました(小林さん)

10月6日放送の番組コーナー「最強マーケティング・森岡毅の熱血授業」で、小林さんは「試験前に勉強をしないでTikTokのショート動画を見続けてしまう」ことを相談。その解決策として森岡氏は苦手なことを長続きさせる方法を、脳の構造から解き明かします。

「私と同じ悩みを持つ人はきっといるはずと、この質問を投げかけました。森岡さんからのアドバイスは、早速実践しています(小林さん)

番組公式YouTubeチャンネルの、小林さん出演動画の視聴数は43万回ほど。彼の悩みと解決方法は、多くの人にも刺さったようです。



中学校
高等学校

『映像字幕コンペティション』で
英語部の高校2年生グループが
1位の最優秀賞を受賞

一般社団法人グローバル教育情報センター主催の、第3回『映像字幕コンペティション』で、英語部に所属する高校2年生、茶谷夏南美さん、木下友愛さん、森川亮太郎さん(写真左から)のグループが1位の最優秀賞を受賞しました。このコンペティションは、全国の中高生を対象に、3人1組のチームで、3分30秒ほどの英語のアニメーション動画に、日本語訳の字幕をつけるもので、英語の意味を理解し、限られた文字数で日本語として自然で簡潔な字幕をつけられるかを競うものです。

今回で応募3回目の森川さんは「3人それぞれが夏休み中に日本語訳し、休み明けの部活でどの訳が適切か話し合いながら決めていきまし



今回の最優秀賞作品については、映像字幕コンペティション公式サイトで公開しています。QRコードをスマホで読み取ってご覧ください。▶

た」。茶谷さんは、「英単語ならではのダブルミーニングを、うまく日本語訳に落とし込むのに苦労しました」と語り、そこをクリアできたのも、今回の受賞の要因と言えるでしょう。

「将来は英語と法律を駆使して紛争を解決する、国際弁護士を目指します(木下さん)

10年後、20年後、日出国園を巣立った英語部3人の活躍が、大いに楽しみです。

日出国園創立90周年 記念事業推進のためのご寄付のお願い(2025年3月末日まで)

2024年度、日出国園は創立90周年を迎え、記念事業として、学園施設の一層の充実を図ることを目的に、皆様からのご寄付を賜り、事業を推進しています。

ご寄付の方法については学園ホームページに掲載しています。創立90周年記念事業にご賛同いただき、皆様からのご寄付を何卒、よろしくお願い申し上げます。

日出国園創立90周年事業ページは、右QRコードをスマホで読み取ってご覧ください。▶



編集
後記

創立90周年記念事業へのご協力に
感謝申し上げます。

11月2日に行われました日出国園創立90周年記念式典は、多くのご来賓の方々、来場者のご列席を賜り、無事挙行することができました。創立90周年の記念事業にも多くの方からのご寄付を賜り、学園施設の充実を図ることができました。ここに、謹んで感謝申し上げます。

編集発行人 学校法人日出国園 学園長 青木 貞雄

学園通信「日出」 Vol.45 2025年1月号

※本紙掲載記事・写真の無断転載を禁じます。

発行 2025年1月31日

編集発行人 青木 貞雄(学校法人日出国園 学園長)

編集 学園通信「日出」編集委員会

幼稚園 根岸わかな 中川多恵

小学校 田中秀明 新井麻由美 日下瑞穂

中学校・高等学校 石川 茂 高味直毅

法人企画室 児玉尚樹 児玉孝喜 渡邊広樹